

HSK

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可 H・S・K通巻432号

◎発行日 平成20年3月10日(毎月10日発行)

◎発行責任者 鈴木 啓三

◎編集 札幌腎臓病患者友の会

札幌市北区北17条西2丁目2番38

サザンアベニュー北大301

◎発行所 北海道身体障害者団体 定期刊行物協会

札幌腎臓病患者友の会

第 83 号

生きる 仲間

後期高齢者医療制度、その経過と運用上の問題点 恒例・親睦ボウリング大会



テイセンボウルでの大会に50余名が参加

撮影 庄野 一 男

講演

〈平成 19 年 9 月 9 日〉

生かされて三八年 あなたは四〇年生きられますか

札幌腎臓病患者友の会会長 鈴木 啓三

はじめに

本題に入る前に表題にありま
す「生かされて三八年」の「生
かされて」について説明したい
と思います。

本来ならば「生きぬいて」と
言うべきところですが、私自身
が「生かされて」いると実感す
ることが多々あったので「生か
されて三八年」にしました。

私は一九七〇（昭和四五年）
年三月に末期の慢性腎不全で新
日鉄室蘭付属病院の泌尿器科に
入院していましたが、主治医が
急に岩見沢市立総合病院に転勤
することになり、「泌尿器科の後
任の医師もすぐには来ないし、
岩見沢にはアメリカに留学して
透析（当時は人工腎臓といわれ
ていました）を専門に研究して
きた医師がいるので、透析をす
るつもりであれば一緒に行かな

いか。」と主治医に言われ、転院
することにしました。そこで透
析医（現在札幌北クリニック理
事長の今忠正医師）に出会い、
透析を導入することになりました。

その時に父は、医師から「透
析をするには多額の医療費がか
かりますが支払えますか。また、
透析をしても二、三年しか生き
られません。」といわれたそう
です。その頃私の実家は農業をし
ていまして、医療保険は国民健
康保険で三〇％の医療費自己負
担があり、それを支払えるかど
うかを、両親と兄弟が集まって
家族会議を開いて相談したそう
です。幸いなことに、実家には
土地がたくさんあったのですが、
その土地が売れてお金があった
ときで、透析をしても二、三年
しか生きられないといわれたこ
ともあり、月二〇万円かかると
して一年間で二四〇万円、三年

間生きるとして七二〇万円にな
りますが、その位なら支払える
だろうということになり、透析
を受けさせることを決めたのだ
そうです。

それで「生かされて」ということ
ですが、室蘭にいる時に主治医が
岩見沢市立総合病院に転勤したこ
とや、そこで今医師に出会ったこ
とや、その時実家に透析の医療費
が支払えるお金があったことも、
今考えるとたまたま私の持つてい
る、生きて何かをしなければなら
ない運のようなものがあつたので
はないかと思えます。その後も、
「あの時に違う道を進んでいたら、
今頃は生きていなかったらう」と
いうことが幾度もありますので、
私は「生かされている」と思い
ながら現在まで生きてきました。

一九七〇年頃の透析治療

それでは本題に入りまして、私
は一九七〇年（昭和四五年）五
月一二日に岩見沢市立総合病院
で透析導入しました。そこで、
一九七〇年頃の透析治療につ
いて話したいと思います。

透析時間と回数

まず、透析時間と回数ですが、
透析時間は一回七、一〇時間。
今は三、五時間位ですので倍く
らしいの時間透析をしていました。
私が透析を導入した時は八時間
透析で、朝八時から透析を開始
して、夕方四時に終わるので、「八
時間労働の仕事をしているみた
いだね」と言われていました。
そして週二回しか透析に入れま
せんでしたので、どうしても透
析から透析までの間隔が二日か
ら三日になるので、慢性的に透
析不足になっていました。

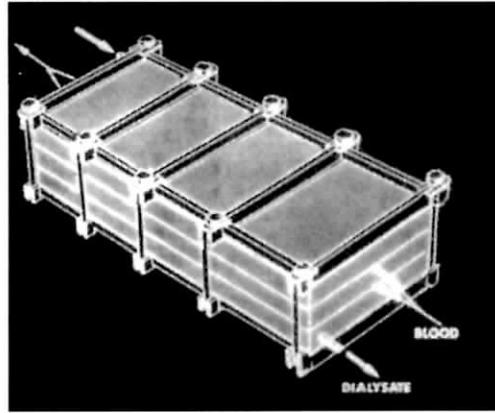
ダイアライザー

次に、ダイアライザーですが、
今はファイバー型で筒状のもの

講演会
演題 『生かされて38年』
☆ あなたは40年生きられるか
講師 札幌腎友会 会長 鈴木 啓三



ですが、当時のダイアライザーは写真のようなスタンダードキール型で、三枚のプラスチックの板の間に一枚ずつ透析膜を張り、それを毎回スタップの方が張り替えてくれ、大変な労力がかかっています。また、透析膜も今のように効率がよい膜でなく、セロハンのような半透膜でした

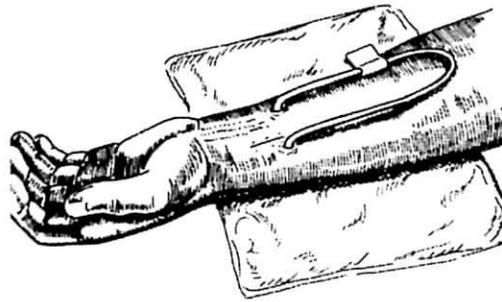


スタンダードキール型

ので、非常に透析効率が悪かったという事です。除水コントロールも無かったので、透析液の配水管を下の方にたらし、サイホンの原理で圧力をかけるといったような原始的な方法で除水をしていましたので、一回の透析で最大2kgくらいしか除水が出来ませんでした。

外シャント

次に、外シャントです。今、皆様は内シャントや人工血管を使って透析をしていると思いますが、当時は写真にあるような外シャントでした。手術をして管が直接に動脈と静脈に入っていて、動脈と静脈の圧力差で常に管の中を血液が流れているも



外シャント

ので、透析をする時には、粘着テープを貼ってある所を外して、透析機器につないでいました。この管は、比較的血液が固まりにくい材質の、シリコンゴムなどで出来ていましたが、少し血液の流量が悪くなると、血栓が出来て詰まることが良くありました。そして詰まると、

外シャントの中に細い管を入れて、血栓を除去するのですが、うまく除去できなければ、外シャントの再手術になります。私は、岩見沢にいた四年半位の間に、四〇数回も外シャントの手術をしました。最後の方では、「もう手術をしないで、透析をやめてしまいたい」と思うくらいつらかった記憶があります。

また、常に管が身体から出ているので、「管を何かに引っかけて外れてしまわないか」「感染してしまわないか」などと、気を遣うことがたくさんあり、なかでも一番大変だったのは、お風呂に入るときで、普段は外シャントに包帯を巻いてありましたが、その上にラップを巻いて、上と下をテープで止めて水でぬれないように手を上げながらお風呂に入っていたのですが、何度も手術をするうちに、腕に外シャントを作る血管が無くなり、脚に外シャントを作りました。すると脚の外シャントにラップを巻いて、脚を上げてお風呂に入ることになり、家族にも見せられないような格好でお風呂に入っていました。そして、再手術

のことや常に管が身体から出ていること、また、お風呂のことなどが本当にストレスになっていました。

一九七五年（昭和五〇年）内シャントになり、そのようなストレスが無くなることにより、「仕事を探して社会復帰をしよう」と本気になって考えるようになったことを思い出します。私自身も含めて現在は内シャントで、ストレスも少なく、お風呂にも普通に入れ、普通の人と変わらない生活を送れると思いますので、大変幸せなことだと感じています。

食事制限と貧血

次に、透析機器の効率が悪かったことと、一週間に二回しか透析が出来なかったことで、食事制限が大変厳しく、一日の摂取量は、塩分3g、たんぱく質四〇gのII度の腎炎食を食べていました。そして、食事以外の水分は一日にコップ一杯だけで、三回薬を飲むとほかに飲める水はほとんど無いという厳しいものでした。その制限を守れない患者は、水分が体の中に溜まっていて、肺水腫や心不全で亡くなるようになりました。

また反対に、この制限を真面目に守ろうとすると栄養不良になり、多くの透析患者は貧血に悩まされていて、当時は、ヘマトクリット値を一六〇二〇％に維持することは大変難しく、一六％以下になると輸血をしなければならず、私もたくさん輸血をしました。

栄養不良が続くことにより、ある日突然に亡くなってしまおう患者もいました。

この頃の透析患者の余命は二〜三年といわれていて、実際に心不全や栄養不良で亡くなる患者がたくさんいました。

当時は近くに透析施設が無いため、遠くから透析をするために岩見沢に来ているので、通院できずに社会的入院をしている患者が多かったのですが、お互いに長く入院しているので、本当に親しくお話をするような仲になり、前の日にベッドの上に座って色々なお話をしていた患者が、次の日の朝には起きてこないで亡くなっていったという経験は何度もしました。そして、遠くから来ている患者は、ご臨終にご家族が間に合わずに、亡

くなつてからご家族がかけつけてきて、岩見沢の火葬場でお骨にしてからお持ち帰りになる方が多く、火葬場まで一緒に行つてお見送りした方が何人もいます。そういうご家族の方が「亡くなった息子や娘の分、ご主人や奥さんの分まで、あんた長生きしなさいよ。」と、私を励ますように言つて帰っていきました。今でも思い出すと涙が出てきます。

透析の医療費

次に、透析の医療費自己負担ですが。透析に入れても何年も

生きられない状況の中で、透析の医療費自己負担がある患者もいました。社会保険本人は無料で透析にかかれましたが、その家族は五〇％の医療費自己負担があり。国民健康保険では、本人・家族ともに三〇％の医療費自己負担がありました。

この表は、一全腎協の二〇年―『歩みとどまらず』という本から抜粋したもので、一九七一年（昭和四六年）三月分の透析の医療費自己負担額です。関東地方の病院の例で、AとBの女性の患者さんの自己負担率五〇％ということ、社会保険の家族だということ、Cの男の患者さんとDの女性の患者さんの自己負担率三〇％ということは、国民健康保険だということ、その頃の一カ月の透析医療費は、八〇〜一〇〇万円といわれているので、A・Bの患者さんは五〇％負担の割には二人とも一二万円位で、C・Dの患者さんも三〇％負担の割には一〇万円と二二万円と安いのですが、実際にはこの負担額が五〇％や三〇％ではなく、患者さんの医療費自己負担が大変なので、病院は、

医療保険には総医療費の五〇〜七〇％を請求して、患者さんには、材料費の実費程度を請求していたようです。

私も少ない時で一カ月一〇万円位、多いときで二三十万円位の医療費を自己負担した記憶がありますが、医療費が多い月は外シャントの手術が何度か重なった時で、どうしても二〇万円を超える自己負担額になり、「金の切れ目が生命の切れ目」といわれていた時代でした。

透析機器の不足

一九六七年（昭和四二年）一月に透析が医療保険に適用されて以来、透析機器は増え始めていきましたがまだまだ少なく、全国の台数は、一九七〇年（昭和四五年）で六六六台。一九七一年（昭和四六年）で一五七五台しか無く、透析を必要とする患者が年間五千人と言われた、極端な需給アンバランスのため、透析医療機関では何らかの患者の選択を行っていました。まず優先されるのは医療費が無料の社会保険本人で、次に医療費自己負担のある患者さんは、そのお金を払えるひとということ

1971年(昭和46年)3月分の人工透析の個人負担額例 (関東地方病院)

性別	年齢	医療費自己負担率	負担金額(円)
A 女	51	50%	123,155
B 女	49	50%	120,175
C 男	33	30%	101,281
D 女	33	30%	223,520

一全腎協の20年―『歩みとどまらず』より抜粋

した。また、世帯の柱となり一家を養わなければならぬ患者さんが優先されまして、当時の患者さんは男性が圧倒的に多かったですということですが。

また、透析をすれば助かるのが分かっていながら、高額な医療費を支払えないため、透析をするのをあきらめなくなっていた患者など、全国には悲劇的な事例がたくさんありました。札幌腎友会三〇周年記念誌の第五章「腎臓病との闘い」に掲載してありますので、お家にお帰りになったら、改めてご覧になっていただきたいと思います。

患者会の結成

全国腎臓病患者連絡協議会

(全腎協) 結成

こうした状況下で、自分たちの生命は患者自身を守ろうと全国腎臓病患者連絡協議会(全腎協)が結成されました。一九七二年(昭和四六年)六月六日に、全国の腎臓病患者二五〇人が結集し、全腎協の結成大会を開催しました。そして、すぐに厚生省・大蔵省などへの要請活動を始めました。

さらに①人工透析の治療費を

全額国庫負担に②人工透析患者に身体障害者手帳の交付を③人工腎臓の増設、普及を④長期療養者の治療費、生活の保証を⑤医療制度、医療体制、社会制度の改善を、の五項目を掲げまして、第一次国会請願署名も実施しました。

その成果の第一として、一九七二年(昭和四七年)一〇月から身体障害者手帳が交付されたことで、更生医療(育成医療)が適用になり、透析の医療費は所得に応じた一部負担だけになりました。アメリカの透析医療費公費助成制度は、この次の年の一九七三年から始まっていますので、全腎協の働きにより、透析先進国だったアメリカに先駆けて、透析医療費の公費負担が日本で始まったということです。また、この身体障害者手帳の交付により、障害年金の支給やバスの運賃半額割引などの制度も利用できるようになりました。

第二の成果は、人工腎臓整備五カ年計画で、これは全国の国立病院に人工腎臓を設置しようということ、一九七二年(昭和四七年)からの五年間に多く

の国立・公立病院に人工腎臓が設置されると共に、民間の透析施設も増えて、人工腎臓不足は解消されていきました。

第三の成果は、人工腎臓医療費に公費助成が始まりました。各都道府県で実施している、重度心身障害者医療費助成制度(マル障制度)がこれにあたります。北海道では、一九七三年(昭和四八年)一〇月からマル障制度が始まり、これで私の透析医療費は〇円になりました。

全腎協の国会請願署名募金活動はその後毎年実施されていて、今年で三七回になります。

札幌腎臓病患者友の会

(札幌腎友会) 結成

次に、札幌腎臓病患者友の会(札幌腎友会)の結成です。一九七〇年代に、札幌市内の透析施設や透析患者が増えるにしたがい、施設間格差や福祉制度が分かりにくいなど、様々な問題が起きてきました。そこで、辻正延氏を会長に、一九七四年(昭和四九年)七月一四日、札幌腎臓病患者友の会の結成大会を開催して、

◎透析患者が使える福祉制度(交通費助成や障害年金など)の情

報収集◎札幌市への要望・請願◎透析施設間の情報交換◎透析食(減塩食品など)の販売斡旋◎親睦交流◎機関紙「生きる仲間」の発刊などの活動を始めました。

北海道腎臓病患者連絡協議会

(道腎協) 結成

次に、北海道腎臓病患者連絡協議会(道腎協)の結成です。道腎協は全腎協の指導のもと、札幌腎友会が中心となり結成されました。一九七七年(昭和五二年)一〇月一日に、全腎協の小林事務局長をお迎えして、結成大会を開催しました。会長に細川哲夫氏を、事務局長は阿部隆氏を、総務部長・会計担当は留目英生氏などを役員として、◎全腎協と連携した活動◎北海道内各腎友会との連携と情報交換◎道腎協独自(道庁への要望や道議会請願など)の活動◎機関紙「どうじん」の発刊などの活動を開始しました。

その後の活動の成果

全腎協の国会請願の主な成果

次に、全腎協の国会請願の主な成果です。◎一九七四年(昭和四九年)小・中・高校の検尿

が義務化になり、若い人の透析導入が大きく減りました。◎一九七八年（昭和五三年）腎臓移植が健康保険の適用になり、生体腎臓移植がどんどん増えていきました。◎一九八九年（平成元年）エリスロポエチンが製造承認され、それまで透析患者は貧血に悩まされる人がたくさんいましたが、腎性貧血が劇的に解消されました。◎一九九〇年（平成二年）J R・航空運賃が、一九九四年（平成六年）には、有料道路料金の障害者割引制度が内部障害者にも拡大されました。

道腎協活動の成果

次に、道腎協活動の成果です。

◎一九八〇年（昭和五五年）全国で初めて北海道による、腎機能障害者通院交通費補助事業が開始されました。◎一九八四年（昭和五九年）医療制度改革により、人工透析は一ヶ月一千万円の医療費自己負担になるが、道腎協の要望活動により、マル障制度が適用され、医療費はかからないことになりました。また、北海道腎臓バンクが開設されました。◎一九九〇年（平成二年）J R・

航空運賃の障害者割引制度が内部障害者にも拡大になりました。

（道腎協でも、道議会請願、J R北海道・航空各社への要望活動をしました。）◎一九九九年（平成十一年）第一回臓器移植推進全国大会が札幌市で開催されました。（一九八一年（昭和五六年）より毎年実施してきた、腎キャンペーンが認められる。）

札幌腎友会の活動の成果

次に、札幌腎友会の活動の成果です。◎一九八〇年（昭和五五年）札幌市で障害者無料パス制度が始まりました。◎一九九七年（平成九年）札幌市議会請願により、札幌市の福祉タクシー利用券、年間四八枚から六〇枚になりました。◎二〇〇三年（平成一五年）札幌市への要望により、障害者交通費助成制度に、自動車燃料助成券が導入されました。◎二〇〇四年（平成一六年）北海道のマル障制度が原則一割負担になり、通院の限度額が一ヶ月一万二千円になるが、札幌市への要望により、札幌市では一医療施設一ヶ月三千円の限度額になりました。

社会保障制度の後退

医療保険・医療助成制度の後退

次は、社会保障制度（医療保険・医療助成制度）後退の一部です。◎一九八四年（昭和五九年）社会保険本人医療費一割負担になる。◎一九九四年（平成六年）入院給食費に一部負担導入。◎一九九七年（平成九年）社会保険本人医療費二割負担になる。◎二〇〇一年（平成一三年）北海道のマル障制度に所得制限が導入される。◎二〇〇三年（平成一五年）社会保険本人医療費三割負担になる。◎二〇〇四年（平成一六年）北海道のマル障制度に原則一割負担が導入される。◎二〇〇六年（平成一八年）更生医療が障害者自立支援医療になる。また、人工透析など特定疾病の医療費自己負担が、高額所得者は一ヶ月二万円になる。

透析医療費の削減

表は、透析医療費削減の一部です。◎一九七八年（昭和五三年）診療報酬改定で初めて透析医療費が引き下げられる。（その後、診療報酬改定の度に透析医療費

透析医療費の削減の一部

1978年(昭和53年)	診療報酬改訂で初めて透析医療費が引き下げられる（その後、診療報酬改訂の度に透析医療費だけが引き下げられる）
1992年(平成4年)	外来透析の血液検査に定額制導入される
1997年(平成9年)	透析の水処理加算削除
2002年(平成14年)	食事加算の廃止（透析中の食事が有料になる）
	透析時間の一元化（何時間透析しても同じ料金）
2006年(平成18年)	エリスロポエチンが包括化される

だけが引き下げられる。）◎一九九二年（平成四年）外来透析の血液検査に定額制が導入される。◎一九九七年（平成九年）透析の水処理加算が削除される。◎二〇〇二年（平成一四年）透析の食事加算が廃止される。（透析中の食事が有料になる）また、透析時間が一元化になる。（何時間透析しても同じ料金になる）◎二〇〇六年（平成一八年）エリスロポエチンが包括化される。

以上のように、国（厚生労働省）は、少子高齢化などによる財源不足を理由に、社会保障制度などを後退・削減させています。

今こそ私たち透析患者は一丸となって、医療・福祉制度を守

る活動をするときだと思えます。皆様の周りには、まだ腎友会にご入会されていない患者さんがたくさんいると思いますので、ぜひ、ご入会を勧めてください。

おわりに

今、話したように、皆様は三八年前と比べれば本当に恵まれた透析医療を受けています。そこで皆様がこれから長生きをするためには、どうすれば良いかを考えてみましょう。

第一には、十分な透析をしていただくことです。

そして自己管理ですが、一日に塩分6g以内、たんぱく質は体重1kg当たり一〜二gに、その他カリウム・リン・カルシウムなどの管理、体重増加は5%以内になどということ、皆様は十分にご存知のことと思いますが、頭では分かっている、ストレスがあるとそれが出来なくなりますので、ご自分なりに楽な方法を見つけて、自己管理をすることが大切です。

また、透析をするたびにお世話になっている、透析施設・医師・

看護師・スタッフなどの医療関係者に感謝し、いつも心配をかけ、負担をかけている、親・兄弟・配偶者・子息などの家族・親族に感謝し、同僚・友人・その他すべての人々に感謝の気持ちを持つことが大切だと思います。感謝の気持ちを持つことが、不満を持たないことにつながり、ストレスがなくなるのではないかと思います。

透析をしていると、自己管理や医療費のことなど、一般の人より多くのストレスを受けています。このストレスをいかに上手に解消するかが、長生きするために一番大切なことだと思います。そのためには、感謝の気持ちを持ち、趣味や生きがいなどをを見つけ、ストレスを少なくすることで、毎日を楽しく生きることです。

最後に皆様には、四〇年・五〇年透析を目指して、積極的な透析人生を送っていただくことをお願いして、講演を終わらせていただきます。

「札幌市北区民センター大ホールにて」

お詫び

昨年の一〇年透析者表彰のおり、左の会員のお名前が漏れていました。

横山 宗弘様（石川泌尿器科）

川合美佐子様（篠路はまなすクリニック）

お詫びして訂正させていただきます。
申し訳ありませんでした。

（事務局）

幹事新年会

一月二〇日（日）正午より恒例の幹事新年会が開催されました。昨年より若干少なかったようですが、役員、幹事一八名が集まり、KKRホテル札幌で行われました。ちなみに会費は三五〇〇円（自己負担）です。柳沼事務局長の司会進行、鈴木会長の挨拶で始まりそろそろ食事も一息ついた所で、お楽しみのゲームとなりました。今年はパークゴルフもどきのゲームで二組に分かれて、紙に書いた数字にボールをころがしての争奪戦、命中すると大きな歓声が：手品あり、故郷のお祭りの紹介もありで大いに盛

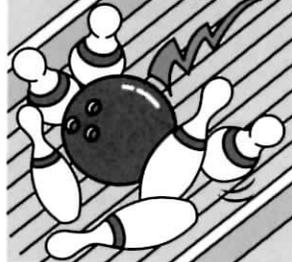
り上がりあつという間の二時間でした。締めは苮木副会長の挨拶で閉会となりました。出席者の皆様大変お疲れ様でした。

矢田 孝子



恒例

親睦ボウリング大会



二月一七日(日)に札幌腎臓病患者友会による親睦ボウリング大会がサッポロロテイセンボウルで行われました。当日の札幌市は、一昨日から続いた大雪で何回も「雪かき」を余儀なくされた参加者



開会式

も多い中、施設から四四名のボウラーと九名のサポーターが参加し開催されました。

一レーン三名から四名の一四レーンにより熱いプレーが展開されました。

一投ごとに声援と歓声が起こりストライクやスペアーが出るたびにハイタッチといった具合であつという間の二ゲームでした。

表彰式では苮木副会長より男女それぞれの「優勝」「準優勝」「三位」に記念のトロフィーと記念品が、その他の賞には記念品が贈られ、参加した皆さんから盛大な拍手が送られました。

今回、私は二回目の参加でしたが皆さんの明るく、元気一杯で健常者と変わりないプレーを見て感じた事は、何かと制限の多い身体では有りますが何事に



たくさんの景品の準備で実行委員も大忙し。

も積極的に自分なりの目標をもって係わり合いをもつて行く事が自立した生活を送る為の条件の一つではないかと言うことです。次回の大会にはより多くの会員の皆様に参加していただけることを祈願して終わりと致します。

※受賞者は次の通りです。
(敬称略)
健常者には一ゲーム十ピンのハンディがあります。

女性の部 二ゲーム合計

- 優勝 仲山千鶴子 336ピン
(札幌北クリニック)
- 準優勝 水林 尚子 277ピン
(星野泌尿器科)
- 三位 外川 真琴 258ピン
(星野泌尿器科)
- 四位 成田 幸子
(札幌北クリニック)
- 五位 高橋 幹子
(札幌北クリニック)
- 七位 高橋真知子
(札幌セントラルクリニック)
- 一〇位 鈴木 洋子
(札幌北クリニック)
- 一二位 大林 睦美
(星野泌尿器科)
- ブービー賞 吉田 優理
(星野泌尿器科)



閉会のあいさつ



左から3位外川さん、優勝福原さん、準優勝西川さん



左から準優勝水林さん、優勝仲山さん、3位外川さん

男性の部

ニゲーム合計

- 優勝 福原 實 395ピン
(星野泌尿器科)
- 準優勝 西川 博司 325ピン
(星野泌尿器科)
- 準優勝 外川 純也 325ピン
(星野泌尿器科)
- 四位 高柳 昌一
(稻積公園駅前クリニック)
- 五位 小玉 誠
(札幌北クリニック)
- 七位 筑後 孝司
(星野泌尿器科)
- 一〇位 大林 均
(星野泌尿器科)
- 一五位 谷口 謙治
(札幌北クリニック)
- 二〇位 柿崎 博
(手稲ネフロクリニック)
- ブービー賞 伊藤 晴雄
(星野泌尿器科)

後期高齢者医療制度（続報）

その経過と運用上の問題

医療制度改革関連法は平成八年六月に、与党の強行採決で成立し、健康保険法改正が施行された。同時に老人保健法も改正、後期高齢者医療制度が平成二〇年四月から開始されることが決定しています。

全腎協はこの間、高齢者の負担増に反対する取り組みを展開し、後期高齢者医療制度が「看取り医療、終末期医療」と言われ、「新たな診療報酬体系が構築される」ことに危機感を示してきた。また、透析患者は六五歳から後期の対象となる（任意）ことを明らかにし、「年齢で医療に差が出ることを認めない」ことを運動の重点としています。

厚生労働省と社会保障審議会委員に全腎協の考え方と主張を訴え、全国の会員より特別部会委員全員に一〇〇〇部を越える訴えが届けられた。

しかし、六五歳から七四歳の障害者（透析患者）では、後期

高齢者医療制度への加入をした者でない、重度障害者医療費助成制度を利用できない方向に一〇数県（北海道を含む）が検討していることが報告されている。

この問題は、患者の選択権を奪うとんでもないことであるという認識でも一致し、全腎協及び中央社保協の各県組織でも共同の取り組みを行うことを確認している。

●北海道（札幌市）の動向

札幌市では「老人保険受給者のみなさまへ」を配布、後期高齢者医療制度を事前に解説しています。

後期高齢者医療制度

都道府県ごとに作られ、道では「北海道後期高齢者医療広域連合」が行います。国民健康保険や政官健保・組合健保・共済組合などの被保険者だった人が対象です。

七五歳の誕生日から全員一人ひとりが被保険者となり、透析患

者は六五歳以上七四歳の方が対象となり任意加入となっています。障害の認定により、現在、老人保険を受けている透析患者はそのまま後期高齢者医療の被保険者となり、「尚、障がい認定の取消しを求めることにより、後期高齢者医療制度へ移行しないことができる。」としている。

後期高齢者医療制度へ移行しない場合、マル障（重度心身障害者医療助成受給者証）の返却を求めるものです。

札幌市では「道の決定を待ち、マル障の取り扱いについて決定致します。」と述べており、一月下旬に広域連合（議会）において、決定取り扱いとなる模様、平成二〇年二月、北海道の後期高齢者医療制度では、「六五歳から七四歳までの特定の障がい者は、後期高齢者医療制度に加入しないとマル障は認定を除外する」決定の確認をいたしました。これにより、札幌市及び各市町村において任意加入としながら後期高齢者医療制度に半ば強制的に加入することになっています。

保険料

一人ひとりの保険料は、後期

高齢者全員の頭割で負担する「均等割額」と、所得に応じて負担する「所得割額」の合計額となる。低所得世帯の被保険者は、保険料が減額されます。

健康保険等の被扶養者であった方は、これまで保険料の負担がなかったことを考慮して、二年間保険料が減額される。また、後期高齢者医療と介護保険でかつた自己負担額の一年間の合計が限度額を越える場合、申請により越えた額が戻ります。

診療報酬改定への取り組み

平成二〇年四月は二年に一度の診療報酬改定で、内閣が診療報酬の方向性を決定し全体の改定率を決めます。

全腎協は「長生きするには長時間透析が必要である」と主張し、日本透析医学会・日本透析医会でも根拠を示している。診療報酬改定の「改定率」に対する取り組みとして、各県組織に内閣（福田総理大臣宛）と与党の厚生労働部会議員に要望書を送る運動を行う。結果、診療報酬透析時間に応じた診療上の評価「時間区分」が復活しました。

（柳沼事務局長）

●保険料の計算

一人ひとりの保険料は、被保険者全員に負担していただく「均等割額」と被保険者の所得に応じて負担していただく「所得割額」の合計額となります。

$$\boxed{\text{保険料}} = \boxed{\text{均等割額}} + \boxed{\text{所得割額}}$$

●平成20年度(2008年度)の保険料は、次の方法で被保険者ごとに計算します。

$$\begin{array}{l} \text{均等割額} \quad \boxed{43,143\text{円}} \\ + \\ \text{所得割額} \quad (19\text{年中の所得} \quad \boxed{} - 33\text{万円}) \times \boxed{9.63\%} \\ \parallel \\ \text{1年間の保険料 (最高限度額 50万円)} \end{array}$$

■の部分を保険料率といい、2年単位で医療費等の状況を見込んで設定され、広域連合の議会が決定します。保険料率は、原則として北海道内は同じ率です。

低所得世帯の被保険者 に対する 保険料の減額

●下表に該当する世帯に属する被保険者の方については、保険料の均等割額が減額されます。

前年の所得が下記の金額以下の世帯	減額割合
33万円	7割
33万円 + (24万5千円×世帯主以外の被保険者数)	5割
33万円 + (35万円×被保険者数)	2割

被用者保険の被扶養者であった方 に対する 保険料の減額

被用者保険(社会保険・共済組合など)の被扶養者であった方は、これまで保険料の負担がなかったことを考慮して、後期高齢者医療制度の加入時から2年間、保険料が減額されます。

区 分	平成20年度		平成21年度
	4月～9月	10月～3月	
均等割額	0円 (均等割額の全額を減額)	2,100円 (6ヶ月分の均等割額の 9/10を減額)	21,500円※ (均等割額の1/2を減額)
所得割額	0円(所得割はかかりません)		
保険料	0円	2,100円	21,500円※

※7割減額に該当する場合は、平成21年度の保険料(均等割額)は12,900円

投稿

ガンと共に生きる

高井 隆雄
(手稲ネフロクリニック)



私は、今年で七七歳になります。透析歴は一三年早いものです。この他に前立腺ガンを患ってから一六年と病のデパートとまではいかないが、コンビニ位でしょうか。性格的に日々体を動かさない、調子が悪いので一〇年前から介護事業を創め透析日以外は、現役で、事業所に出勤しています。

これが気分転換になっているのかと思つています。あまり病気のことは気にしないで済ましたが、一昨年秋頃に前立腺ガンのPSA検査で数値が急に上がりました。

また、ヘルニアの手術のため整形外科でR1で写真を撮つて見たところ、担当医から四箇所に転移がありヘルニアの手術の箇所も転移しているの難しいといわれました。入院して一週間検査をして何とか手術をすることができました。しかし、転移したガンはどうなるのか不安が頭をよぎります。

以前にヘルニアで中国鍼院に通院した時、待合室にあった健康関連の月刊誌に女優の大空真

弓さんのガン体験記を目にしたことがありました。内容は三つのガンを克服したとのことでした。駄目でもともと、思いながら彼女がすすめる、キノコを取り寄せ服用してみました。二ヶ月後の血液検査から数値が下がりはじめ一〇ヶ月後のR1を撮つて見ると転移していたガンは見事に消えていました。

担当の先生は「おかしき消えているなあ」と定期受診の時、聞きました。

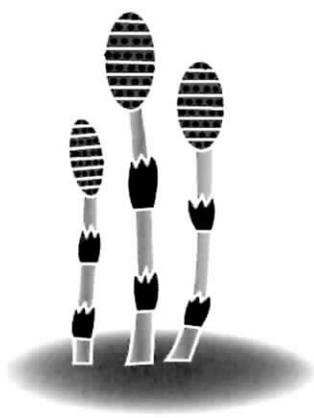
発病以来一六年の長期間治療していただいた先生にキノコを飲んで消えたのとは言えませんでした。今も話しはしていません。

長期間のホルモン治療と投薬は、効かなくなるとの先生のご意見でしたので頭が真っ白になったこともありましたがこれからガンと向き合い、人生の最終章を歩んでいくつもりです。

話しは変わりますが私の趣味は、グルメとスポーツです。透析があるので食事は制限されますが、体調に合わせて美味しく食しています。

スポーツは、観るのが大好きで特に日本ハムが本拠地を札幌に移してからは、ファンとして観戦に、熱中しております。早くシーズンの開幕を心待ちにしています。

また、サッカーも大好きでコンサドレの試合は必ず観て心の糧としています。少しでも気分転換になっているのではと感じています。また、私たち透析者は加齢とともに病気にかかりやすくなり、病気になることで老化が早まるという流れに入りますが心身の若さを保ちつつ、健やかに、おだやかに年を重ねていきたいと思っております。



投稿

生涯スポーツはこれ!

齋藤 好子
(星野泌尿器科)



私は学生時代、陸上が好きで中学から大学までの一〇年間、グラウンドで走ったり、円盤や砲丸を投げる時間をすごしていました。それは今も続けており、毎年陸上の審判を月に二・三回のボランティアで参加したり、マスターズの陸上競技大会に出場して楽しんでいます。

最初は、学校のクラブ活動で始めたのですが、このスポーツが自分に合っていると思っただけでは、少スキついてもありましたが、楽しんでやろうという思いが強く、今にいたるまで続いているのだと思います。また私の場合は、多くの友人との出会いが、よりいっそう陸上を続けることのできる環境を、作り上げたのではないかと思えます。

私は、陸上競技の中でも「砲丸投げ」「円盤投げ」というのをしています。学生時代は国体に出場したり、インターハイにも出場し、このとき一緒に学生時代

を過ごした友人達とは今も良い関係が続いています。

大学を卒業後しばらく陸上競技から離れました。透析を始めてから陸上競技の審判を通してマスターズの陸上をしないかとの誘いがあり、すぐに申し込みをしました。しばらく競技を離れていたのですが、最初の成績はとも人に言えるものではありませんでした。とても充実した一日でした。そして、学生時代のときとは違い競技中も会話が弾み、和気あいあいとした雰囲気でも競技をしており、記録に挑戦しながら、各々の選手が、本当にスポーツを楽しんでいるように見え、私もいつの間にかその中にいて違和感のない存在になつていくように感じていました。ただ、ほとんどの人が、私より年齢が上の人たちですが、健康でスポーツを生きがいにして毎回競技大会に出ている人もいます。

そして、大会の場所により、終了後みんなで食事会があるときはさらに盛り上がり、記録の話や仲間の話で、あちこちで盛り上がるので、また参加しようという気持ちにいつもなります。

特に、富良野での大会は一泊二日で行われ夜遅くまで、陸上の話で盛り上がります。そして、次の日はラベンダーを皆で見ている風景なのですが、行く度に新鮮に思え毎年参加しています。

さらに、四回ほど「スポーツリクレーション大会」という、道外の競技大会にも参加したことがあります。この大会は、全国から参加してくるので、思いがけず学生時代の友人に会ったりして、驚くこともあります。それがまた楽しみです。それに、いった先で思いもかけず大会ボランティアの人たちに感謝したり、感動することも多くあります。そんな事もあって、選手として選ばれたときはできるだけ参加するようにしています。

今も、毎年のように道内外の競技大会に出場して、新たな友達もでき競技を楽しんでいます。

私の場合は、競技の成績よりもその雰囲気がとてもよく、無理をしないで自分流にできるスポーツだと感じています。これからも、自分の身体の許す限り挑戦し続けたいと思っています。

昭和五八年、私は札幌大病院の眼科に入院していた。網膜症の手術は開始されたばかりであり、私の網膜の状態もひどく悪かったので、見えるようになるかどうか五分五分と言われた。

まったく目が見えないということは心まで暗くしていた。誰とも口をきかず、笑顔も見せず、ただ空虚に時を過ごしていた。

そんなとき、母が売店から桃を買ってきてくれた。おもしろいよと言つて掌にのせてくれた。ずしりと重く、甘い芳香を放っていた。二〇〇円もしたと聞いて、こんな私が食べるのは気がひけた。半分ずつ食べようと遠慮すると、「元気がでるから全部食べなさい」と母は皮をむき始めた。

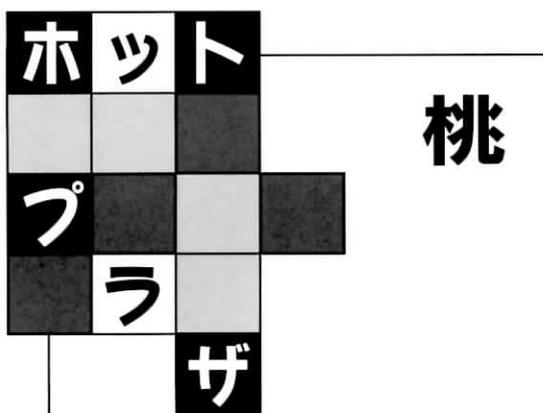
したたり落ちる水気とたつぷりの甘さ、本当においしかった。何を食べてもおいしくないと感じていたのは、体調が悪く味覚が変化したせいだけではなく、病院食のまずさにあつたらしく、おいしい物をおいしいと分かる力が残っていることがうれしかった。

桃は渴ききつた心に潤いを与え、五分の成功率に勇気をふるい立たせてくれた。右目は視力を取り戻し、左目はその後何度かの手術の痛みもなく光を失った。そんなこんなで、昭和六一年、大久保という品種の桃の木を庭に植えた。わずか一mの丈だつ

近所、親戚、知人に配り、大いに喜ばれた。しかし、悲しいことに木も年をとる。無農薬で育ててきたから、なおのこと、病害虫に弱くなる。一三年も経つと、桃の木はゆうに3mをこえ、七三歳の母の手におえなくなつてきてい

ている。右目が見えるのだから絶望することは無いと言いきかせるのだが、やはり私は愚かな女、見てくれがどうしても気になる。悩み迷ううち、物が食べられなくなつた。

片桐 俊子
(保坂内科クリニック)



たが、桃栗三年柿八年の言葉通り、三年目に実を四個つけた。二月中に消毒し、肥料は年三度たつぷり施した。母の丹精の甲斐があり、二〇〇個も収穫した年もあつた。札幌大のあの桃以上にそれはそれはおいしく、

た。別れの日、我が身を切られるようだった。今私はひどく落ち込んでいる。見えていない左目が役目を終えたと勘違いして、すっかり閉じてしまった。慢性ウィンク状態になつた顔は、どこか間が抜け

「頑張る姿をずっと見てきたから、頑張らなさいとは言えない」と母は言い、保坂先生は「いろいろ考えると腸がストライキ起こすから、何も考えなくていいよ」とおっしゃつた。看護師、技士、送迎のドライバーの皆さん、それぞれの言葉が温かく胸にしみた。

この世の諸悪と雑事から解き放たれ、慈愛に見守られ、魂の平穏を求めて生きていた私は桃源郷にいるのかもしれない。感謝し、元気にならなければ、罰があたる。

しんしんと降る雪の向こうに、我が家のでやかで香りたつ桃の花がよみがえってくる。春は近いと信じ、残酷な現実打ちのめされることなく、私は挑み続ける。

難病連主催 クリスマスパーティーに参加して

難病連クリスマスパーティーが、平成一九年十二月一六日(日)午後三時から札幌市中央区北五条西五丁目のサントリーズガーデン昊(そら)で開催されました。このパーティーは難病連の毎年

恒例の行事で難病連加盟の各部会から各一名の実行委員で実行委員会を組織し、これに多くの市民ボランティアの方々の協力で開催されました。

当日は二四部会から二〇〇余名が参加しました。プログラムは、人気アナウンサーの松永俊之さんのトークショー、ピエロのマジックショー、豪華商品(エレクターン等)の当たる抽選会などで、大人も子供も楽しめる会でした。



ちよつと残念に思えたのは、腎臓部会の参加者が家族を含め五名と少なかつたことです。私自身今回が初めての参加でしたので反省の意味も込めて、皆さんに次回は参加することをお勧めします。是非参加して下さい。

(菅木 芳三)

皆様のご協力に感謝申し上げます 正月飾り販売結果報告

(平成19年度)

施設名	販売売上額	還元金	施設名	販売売上額	還元金
稲積公園駅前クリニック	50,820	10,164	ていね泌尿器科	72,750	14,550
小笠原クリニック外来プラザ	5,440	1,088	中野医院	14,280	2,856
光星泌尿器科医院	5,800	1,160	福住泌尿器科クリニック	26,280	5,256
札幌北クリニック	73,840	14,768	保坂内科クリニック	20,090	4,018
札幌セントラルクリニック	13,080	2,616	星野泌尿器科	32,950	6,590
札幌南一条病院	16,480	3,296	宮の森記念病院	12,800	2,560
三樹会病院	3,990	798	山本医院	12,390	2,478
しらかば泌尿器科クリニック	23,540	4,708	石狩病院	12,290	2,458
澄腎クリニック	9,470	1,894	サン内科外科病院	8,640	1,728
手稲ネフロクリニック	13,000	2,600	個人会員(4名)	17,510	3,502
合計：販売売上額		445,440	還元金		89,088

※札幌腎友会の販売益は115,606円です。

平成19年度 国会請願署名募金結果報告

◎平成20年1月31日現在

全腎協「腎疾患総合対策」の早期確立を要望する請願書並びに日本難病・疾病団体協議会(JPA)「難病、長期慢性疾患、小児慢性疾患の総合対策を求める」国会請願署名・募金にご協力ありがとうございました。

施設名	全腎協				J P A			
	署名数		募金額		署名数		募金額	
	18年度	19年度	18年度	19年度	18年度	19年度	18年度	19年度
石川泌尿器科	259	319	5,000	11,000	294	314	0	0
稲積公園駅前クリニック	348	300	19,500	17,000	308	260	3,000	3,000
いのけ医院	220	170	0	0	240	170	0	0
H・N・メディック	353	283	13,000	16,200	296	255	500	800
H・N・メディックさつぼろ東	84	70	6,000	3,500	80	70	0	0
N T T 東日本札幌病院	163	113	27,700	14,000	163	80	9,700	1,000
小笠原クリニック付属外来プラザ	48	36	3,100	7,500	50	27	1,000	1,000
兼古循環器クリニック	60	0	0	0	60	4	0	0
勤医協中央病院	517	422	26,800	26,200	404	342	2,850	4,200
クボタ泌尿器科クリニック	18	34	2,500	1,000	18	35	0	0
クリニック198札幌	0	0	0	0	0	0	0	0
KKR札幌医療センター	0	30	0	4,000	0	30	0	0
芸術の森泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0
光星泌尿器科医院	243	75	4,500	4,000	120	74	500	0
五輪橋内科病院	60	289	0	25,500	50	272	0	7,500
坂泌尿器科病院	20	78	2,000	3,000	20	80	0	0
札幌北クリニック	762	700	71,000	57,569	752	657	1,222	5,000
札幌厚生病院	70	0	0	0	70	0	0	0
札幌センチュリー病院	118	113	8,000	8,000	118	110	0	0
札幌セントラルクリニック	200	131	10,000	4,000	200	131	2,000	0
札幌中央病院	0	10	0	0	0	7	0	0
札幌東クリニック	355	484	23,200	20,000	345	422	3,000	10,000
札幌北楡病院	486	616	30,510	31,600	455	510	5,200	4,000
札幌南一条病院	717	801	51,550	40,900	648	749	4,450	1,500
三樹会病院	280	320	3,000	6,326	280	320	0	372
J R 札幌鉄道病院	190	190	5,100	5,500	190	190	1,000	500

篠路はまなすクリニック	50	145	10,000	14,600	50	135	0	0
しらかば泌尿器科クリニック	110	110	5,000	2,000	120	110	0	0
市立札幌病院	210	210	20,500	15,500	210	200	1,500	2,000
仁愛会外科クリニック	39	—	2,000	—	39	—	1,000	—
新札幌循環器病院	10	10	7,000	7,000	10	10	0	0
仁榆会病院	346	286	10,100	12,000	341	270	0	0
澄腎クリニック	520	586	23,000	19,000	499	566	1,000	1,000
桑園中央病院	140	230	1,000	0	140	229	1,000	0
田島クリニック	450	370	14,500	5,600	460	360	4,600	2,500
手稲ネフロクリニック	289	410	6,000	20,500	146	384	1,000	2,500
ていね泌尿器科	749	625	20,100	25,450	659	614	8,300	7,700
中野医院	207	180	5,600	5,500	197	180	1,800	2,000
新井田医院	400	390	10,000	11,000	380	390	0	0
東苗穂病院	60	53	4,000	2,000	60	52	2,000	0
広田医院	40	40	3,000	1,000	46	40	0	0
福住泌尿器科クリニック	70	145	3,000	10,000	60	145	0	4,000
保坂内科クリニック	134	127	8,000	9,000	61	107	0	0
星野泌尿器科	310	297	7,500	7,500	300	294	500	500
北光記念病院	120	200	3,900	5,000	100	110	0	0
萬田記念病院	110	51	3,000	0	110	41	2,000	0
宮の沢泌尿器科クリニック	20	30	2,000	2,000	20	31	0	0
宮の森記念病院	482	373	3,000	13,040	300	309	0	0
元町泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0
もなみクリニック	70	103	10,000	4,000	73	100	1,000	1,000
山本医院	0	0	0	0	0	0	0	0
ゆうあいクリニック	40	20	1,000	1,000	40	20	0	0
40条クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0
石狩病院	137	169	10,000	9,300	127	124	2,000	200
H・N・メディック北広島	530	179	26,000	13,000	510	189	0	0
はまなす医院	20	40	3,100	0	20	40	0	0
恵み野病院	0	20	0	5,000	0	20	0	0
恵庭クリニック	43	30	200	0	47	30	200	0
個人会員	221	184	19,000	23,000	231	184	0	1,000
その他	0	67	0	0	70	13	0	0
合計	11,498	11,264	553,960	549,785	10,587	10,406	62,322	63,272

札幌腎友会配分金（全腎協募金65%）357,360円、JPA配分金なし
今年度の全腎協国会請願は3月27日に行われる予定です。

動脈硬化によって

引き起こされる合併症

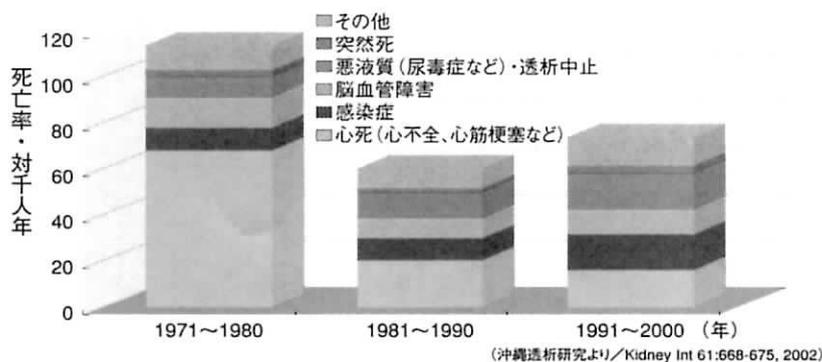
動脈硬化が進むと、血液が十分に流れないためにさまざまな合併症をおこしやすくなります。いずれの合併症も、生活の質（QOL）を著しく低下させ、生命の危機を招くものです。とくに心不全、心筋梗塞、脳梗塞、脳出血などの心血管系合併症は、透析を受けている人の死亡原因の上位を占めており、予防と早期発見がきわめて重要です。

狭心症・心筋梗塞・心不全

心臓の動脈（冠動脈）に動脈硬化がおこると、血液量が減少し、十分な酸素や栄養が運ばれなくなってしまう。このような状態（虚血状態）が続くと、発作的に動悸や息切れ、胸の痛みがおこることがあります。これを狭心症といいます。

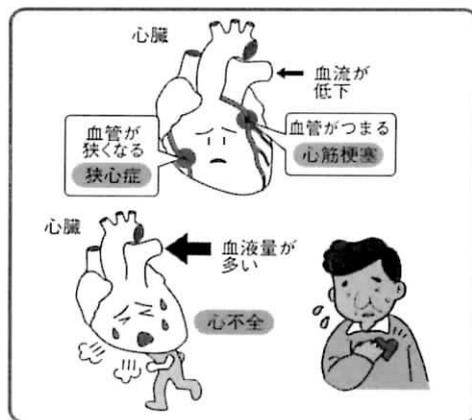
さらに、冠動脈が完全に詰まって、激しい胸の痛みとショック症状を伴うのが心筋梗塞、虚血状態や心臓の筋肉の疲労で心臓が十分に血液を送り出せなくなり、むくみや動悸、息切れがみられるのが心不全です。

■ 透析者の死亡率・死亡原因の推移 ■



脳梗塞・脳出血

脳に血液を送っている血管（脳動脈）が詰まることで、脳に酸素や栄養が供給できなくなった状態を脳梗塞といい、脳の血管が破れ出血してしまうことを脳出血といいます。透析を受けることにより血管が傷つけられたり、血液が固まりやすくなるため、透析者では一般の人よりも脳血管障害が多いといわれています。頭痛、悪心・嘔吐、手足の麻痺、言語障害、意識障害などの症状がみられたら、すぐに主治医に相談しましょう。

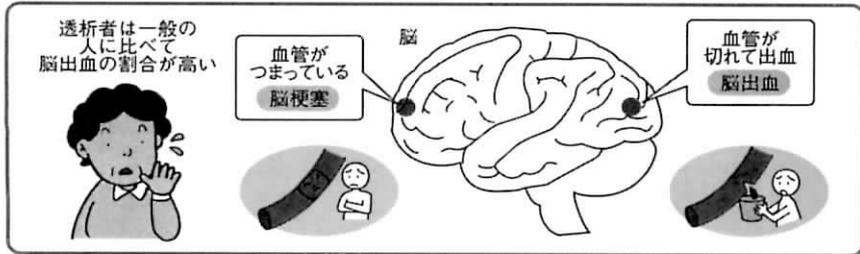


閉塞性動脈硬化症

下肢の動脈が詰まってしまふことによりおこります。

初期には下肢の冷感やしびれ感がみられる程度ですが、進行すると、

歩くとき
に下肢が
痛くなつ
たり、こ
性跛行、
安静時に
下肢が痛
んだりし
ます。さ
らに悪化
して血流
が極端に
低下する
と壊疽(組
織が死ん
でしまう)
を起こし
てしまう
ので、早
期治療が
大切です。



(キッセイ薬品工業) 透析のはなしより

吉澤 廣氏



平成一九年八月二六日、
ご逝去されました。
“生きる仲間”

ホットプラザ

七三〇七九号執筆

幹事(渡井医院)

平成一五年度

(光星泌尿器科医院)

平成一七年〇一八年度

雨宮 英子さん



平成一九年九月二五日、
ご逝去されました。

幹事(三樹会病院)

昭和六二年〇平成五年度

(兼古循環器クリニック)

平成九年〇一九年度

札幌北クリニック
鈴木 洋子

青年部の
ページ

『しっかり透析して、しっかり食べて、
しっかり運動して元気になろう！』

表題は1月19日に行われた道腎協青年部
交流会の勉強会のテーマです。これを読んで
いる皆さんは『透析はどこでも週3回4
時間でしょ？』『食事制限もあるし、運動
なんて無理だよ！』と、このテーマに違和感
を覚える方がほとんどかもしれません。

透析というと『厳しい食事と水分制限』と
誰しもうる覚えがあるでしょう。

ではリンやカリウム等の検査データが良好
であれば『元気で長生き』できるのでは
ないか？それはちょっと違うようです。厳し
い食事制限も場合によっては栄養不足に
なる可能性があり、かつ、栄養不足は死
亡リスクをも高めるといいます。ではど
うすれば合併症を未然に防ぎ、『元気に
長生き』できるのでしょうか？

今回はこれを提唱している医師の資料をも
とに勉強会を行いました。

透析で『元気に長生き』するための三か条は

- ①適切で十分な透析
- ②バランスの良い十分な食事
- ③適度な運動

簡単にいうと『しっかり透析して、しっ
かり食べて、しっかり運動する』ことだ
そうです。意外と単純ですよ？

①は透析時間を延ばす、血流量をあげる、
ダイヤライザーを変える、HDFをすること
等で透析量を上げることができます。②は
制限を意識せず、バランスよくたくさん
食べる

こと。①②が実行できたら体力がつき
ます。体を動かすことで筋肉もつき、代
謝もUPし、体重増加も少なくなり一石
二鳥です。

この三か条が実行できたら元気な透
析生活を送れるような気がしませんか？

さて、そこで青年部員の元気度は？
ということで、各自の検査データから①
BUN除去率 ②KT/V ③nPCR (蛋白異
化率)

④%クレアチニン産生速度の4点を算
出してみました。この4点は透析効率や
栄養状態、筋肉量を知るための大切な
指標です。ご存知ない方は是非一度計
算してもらおうと思います。

結果は？ 青年部では積極的に5時間
透析やHDFをしている人も多く、なか
なかの好成績。なかには『オレは6時
間やりたい！』という男性陣からの驚
くような声も。

そういう私も病院のご厚意によりHDF
で5時間透析、しっかり食べます。最
近は走っています。ちょっとだけ仕事
もしています。今年の目標は『5キロ
マラソン完走！』(けっこう本気です)

非常に厳しい状態にある透析医療費
ですが、『質の良い透析で元気な生活』
が医療費の削減、そして、現場の医
療スタッフと患者の両者の笑顔に繋
がるものと思います。

青年部ではこのような勉強会、楽
しいお食事会などを企画しています。
興味のある方は是非ご参加ください。

〈事務局活動経過報告〉

- 11月 2日 宮村もと子市議訪問
12日 上田市長へ交通費助成見直しに関する要望書提出
13日 “生きる仲間” 82号発送
“ぜんじんきょう” No.224 発送
22日 事務局打合せ(7名)
- 12月 6日 交通費助成見直し経過報告のポスター発送
13日 “どうじん” 第117号発送
20日 生きる仲間編集委員会(5名)
事務局打合せ(9名)
- 平成20年
1月10日 ボウリング大会実行委員会(10名)
“ぜんじんきょう” No.225 発送
17日 ボウリング大会案内発送
全腎協2006年度血液透析患者実態調査報告書発送
24日 事務局打合せ(7名)
30日 札幌市上田市長へ後期高齢者医療制度に際し、重度心身障害者医療費助成制度の適用について要望書提出
- 2月17日 親睦ボウリング大会
(サッポロテイセンボウル56名)
26日 事務局打合せ(10名)
幹事会打合せ(10名)
市議会、厚生委員会で障がい者交通費助成見直しの具体案(傍聴4名)

■事務局だより■

◎ご寄付を頂戴しております。会活動に役立たせていただきます。ありがとうございます。

- ・中野 幸雄先生(中野医院)より 11,039円
- ・工藤 るみ様(三樹会病院)より 2,000円
- ・星野 継二郎先生(星野泌尿器科)より 30,000円

◎ハガキと切手のご寄付をいただきました。

大切に使用させていただきます。ご協力ありがとうございます。

- ・新井田医院 岡崎 政司様

◎事務局開局時間帯のご案内

札幌腎友会事務局(3階)

入室方法～1階入口がロックされていますので、「301呼」でコールして下さい。

時間 AM10時～PM5時

曜日 火曜日・木曜日

道腎協(1階)

事務局開局曜日～月曜～金曜

時間 AM10時～PM3時30分

なお、日曜日に会議等があった時は、月曜日を休局とします。

— 道腎協事務局長は上の時間帯で(月)(水)(金)に出局します。

— 緊急時は携帯090-8634-5366まで。



◆編集後記◆

今年度の最終号がようやくでき上がりました。親しみやすい記事と、楽しい写真が心なげましたが、今一の感もあり「反省しきり」といったところでは、

待ち遠しい春。今年は暖かい日が多いらしい。しかし障害者にとつての“温かい春”は来るのだろうか。

編集に参加し、更に読み応えを感じました。一人でも多くの人に読んでもらえると嬉しいです。

(UM) (YA) (SH)